

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 日本マイクロコーティング株式会社
 コード番号 5381 URL <http://www.mipox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 折登 進

TEL 042-543-4711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,549	0.3	22	21.3	18		47	
23年3月期第2四半期	1,554	12.9	28		48		80	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 145百万円 (%) 23年3月期第2四半期 145百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.67	
23年3月期第2四半期	7.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	5,611	3,684	65.1	358.77
23年3月期	5,663	3,823	67.1	373.09

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,652百万円 23年3月期 3,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0.00		0.00		0.00
24年3月期		0.00				
24年3月期(予想)				0.00		0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,055	3.2	11		53		109		10.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,696,320 株	23年3月期	10,696,320 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	515,108 株	23年3月期	515,028 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,181,258 株	23年3月期2Q	10,181,305 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を完了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

・平成23年12月1日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱は和らぎましたが、夏場の電力供給制限、円高の更なる進行により、厳しい状況で推移いたしました。

当社グループでは、グローバル戦略として各地域のニーズに合致した製品開発と事業展開を強化する「ローカルフィット戦略」の展開を継続し、着実に成果が挙がってきております。東日本大震災による当社グループの売上への影響は徐々に減少してきておりますが、当第2四半期においても影響は残っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は15億49百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

損益面においては、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の圧縮に努め、営業利益22百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

また、米ドルに対する円高の進行により営業外費用として為替差損33百万円が発生し、経常損失18百万円（前年同期は48百万円の経常損失）、特別損失として旧昭島工場の一部の土地・建物の売却予定に伴う有形固定資産減損損失15百万円を計上した結果、四半期純損失47百万円（前年同期は80百万円の四半期純損失）となりました。

事業別売上高の状況

事業別売上につきましては、次のとおりであります。

・研磨関連事業

() ポリッシングフィルム売上高は、9億38百万円（前年同期比5.4%減）となりました。主力の光ファイバー関連市場においては、第1四半期で生じた北米顧客側の当社製品の在庫調整による売上減少から復調しましたが、液晶パネル関連市場、磁気関連市場において東日本大震災の影響が続き、売上高が減少しました。

() ポリッシングリキッド売上高は、2億23百万円（前年同期比12.1%増）となりました。主要用途のハードディスク関連市場にて、洗浄剤、スラリーの売上高が引き続き増加しました。

() ポリッシングパッド売上高は、2億11百万円（前年同期比2.7%減）となりました。ハードディスク関連市場で使用するワイプテープの売上が引き続き堅調に推移しました。

・機能性薄膜塗布事業

() 機能性フィルムの自社ブランド製品売上高は、47百万円（前年同期比673.8%増）となりました。当社オリジナルのハードコートフィルムが、海外メーカーの携帯電話用として採用が継続されたことによります。

() 受託製造売上高は、28百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

所在地別売上高の状況

所在地別の業績は、次のとおりであります。

() 日本

日本の売上高は、10億82百万円となりました。機能性薄膜塗布事業において、自社ブランドのハードコートフィルムの売上が第1四半期に続き堅調に推移しましたが、研磨関連事業では東日本大震災の影響により、液晶パネル関連市場、磁気関連市場での売上が不振となりました。その結果、セグメント損失は46百万円となりました。

() マレーシア

マレーシアの売上高は、7億31百万円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野であるハードディスク関連市場において、洗浄剤、スラリーの売上が増加しました。その結果、セグメント利益は50百万円となりました。

() 中国

中国の売上高は、3億47百万円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野である光ファイバー関連市場において、中国国内市場売上は前期に引き続き増加しております。

しかしながら、第1四半期での東日本大震災の影響と北米顧客側での当社製品の在庫調整の影響から、売上高が減少いたしました。その結果、セグメント利益は3百万円となりました。

() 北米

北米の売上高は、2億円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野である光ファイバー関連市場において、当第2四半期に入り顧客側の当社製品の在庫調整がなくなり、売上高は復調しておりますが、第1四半期の売上減少の影響が残っております。その結果、セグメント利益は0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。主な内容は、現金及び預金の増加1億45百万円、受取手形及び売掛金の減少36百万円、棚卸資産の減少24百万円、有形固定資産の減少1億34百万円等であります。

(負債)

負債の部は19億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。主な内容は、支払手形及び買掛金の減少68百万円、流動負債その他の増加82百万円、賞与引当金の増加36百万円、借入金の増加39百万円等であります。

(純資産)

純資産の部は36億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減少いたしました。主な内容は、四半期純損失の計上47百万円、為替換算調整勘定の減少98百万円等であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、65.1%となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から1億46百万円増加し、8億68百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は99百万円の増加（前年同期は3億15百万円の増加）となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純損失32百万円、仕入債務の減少57百万円等による減少と、減価償却費1億12百万円、賞与引当金の増加39百万円等による増加であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は53百万円の増加（前年同期は1億33百万円の減少）となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出8百万円等による減少と、有形固定資産の売却による手付金収入60百万円等による増加であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は48百万円の増加（前年同期は68百万円の減少）となりました。主な内容は、長期借入金の返済による支出1億40百万円等による減少と、長期借入れによる収入1億90百万円による増加であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想については、平成23年11月11日付「平成24年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」により、修正いたしました。

個別業績予想の概要（参考情報）

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	2,134	0.1	241		257		25	27

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 個別通期業績予想は、平成23年11月11日に公表しました業績修正により、修正いたしました。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)」を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、1株当たり四半期純損失であるため、これによる影響はありません。

【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結累計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,492	1,017,544
受取手形及び売掛金	845,597	808,646
商品及び製品	202,516	195,990
仕掛品	384,462	370,708
原材料及び貯蔵品	138,074	133,418
繰延税金資産	14,188	17,483
未収入金	30,039	19,086
その他	28,347	51,326
貸倒引当金	5,129	4,499
流動資産合計	2,510,589	2,609,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,462,921	5,445,844
機械装置及び運搬具	1,359,663	1,282,947
土地	1,053,575	1,053,575
その他	420,819	397,685
減価償却累計額	5,214,055	5,232,044
有形固定資産合計	3,082,925	2,948,008
無形固定資産		
その他	19,707	5,804
無形固定資産合計	19,707	5,804
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,931	835
その他	54,452	54,091
貸倒引当金	6,644	6,644
投資その他の資産合計	50,739	48,282
固定資産合計	3,153,372	3,002,095
資産合計	5,663,962	5,611,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	288,457	220,266
短期借入金	858,000	858,000
1年内返済予定の長期借入金	243,089	173,226
未払法人税等	28,669	27,866
賞与引当金	11,853	48,842
その他	76,921	159,462
流動負債合計	1,506,991	1,487,664
固定負債		
長期借入金	202,855	312,497
退職給付引当金	111,403	108,888
繰延税金負債	-	1,571
その他	18,870	16,761
固定負債合計	333,130	439,719
負債合計	1,840,121	1,927,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,998,700	1,998,700
資本剰余金	2,953,700	2,953,700
利益剰余金	637,304	684,833
自己株式	481,314	481,325
株主資本合計	3,833,781	3,786,241
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	35,275	133,537
その他の包括利益累計額合計	35,275	133,537
新株予約権	25,335	31,713
純資産合計	3,823,840	3,684,417
負債純資産合計	5,663,962	5,611,801

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,554,940	1,549,498
売上原価	902,953	965,428
売上総利益	651,986	584,069
販売費及び一般管理費	623,274	561,467
営業利益	28,712	22,602
営業外収益		
受取利息	265	242
受取配当金	324	-
受取賃貸料	8,338	10,613
その他	3,179	1,747
営業外収益合計	12,108	12,602
営業外費用		
支払利息	19,064	17,264
為替差損	66,371	33,327
その他	3,714	3,346
営業外費用合計	89,150	53,938
経常損失()	48,330	18,733
特別利益		
有形固定資産売却益	-	2,391
新株予約権戻入益	3,049	-
特別利益合計	3,049	2,391
特別損失		
固定資産除却損	849	348
減損損失	9,021	15,679
会員権売却損	5,584	-
会員権評価損	7,750	-
その他	942	-
特別損失合計	24,149	16,028
税金等調整前四半期純損失()	69,430	32,370
法人税、住民税及び事業税	15,020	15,761
法人税等調整額	3,684	602
法人税等合計	11,335	15,158
少数株主損益調整前四半期純損失()	80,765	47,529
四半期純損失()	80,765	47,529
少数株主損益調整前四半期純損失()	80,765	47,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,739	-
為替換算調整勘定	60,175	98,261
その他の包括利益合計	64,914	98,261
四半期包括利益	145,680	145,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,680	145,790
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	69,430	32,370
減価償却費	149,304	112,899
減損損失	9,021	15,679
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,504	297
賞与引当金の増減額(は減少)	20,316	39,560
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,340	2,515
受取利息及び受取配当金	589	242
支払利息	19,064	17,264
固定資産除却損	849	348
固定資産売却損益(は益)	-	2,391
売上債権の増減額(は増加)	116,924	11,925
たな卸資産の増減額(は増加)	92,090	90
仕入債務の増減額(は減少)	35,559	57,247
その他	43,022	54,940
小計	353,859	133,792
利息及び配当金の受取額	936	242
利息の支払額	18,708	17,365
法人税等の支払額	21,034	17,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,053	99,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	600	-
有形固定資産の取得による支出	137,272	8,647
有形固定資産の売却による収入	-	2,112
有形固定資産の売却に係る手付金収入	-	60,159
その他	3,928	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	133,943	53,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	99,246	190,000
長期借入金の返済による支出	166,407	140,068
リース債務の返済による支出	1,257	1,327
自己株式の取得による支出	-	10
配当金の支払額	-	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,418	48,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,801	55,026
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	67,890	146,293
現金及び現金同等物の期首残高	562,212	722,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	630,102	868,757

【注記事項】

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
給与・賞与	182,724千円	191,704千円
賞与引当金繰入額	11,788千円	25,030千円
退職給付費用	10,819千円	9,909千円
減価償却費	52,459千円	36,202千円
研究開発費	50,400千円	5,418千円
貸倒引当金繰入額	5,302千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	783,562千円	1,017,544千円
預入期間が3か月を超える定期預金	153,459千円	148,787千円
現金及び現金同等物	630,102千円	868,757千円

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	日本	マレーシア	中国	北米	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	508,256	638,194	175,820	232,669	1,554,940		1,554,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	553,077	103,629	264,277	14,620	935,604	935,604	
計	1,061,333	741,824	440,097	247,289	2,490,545	935,604	1,554,940
セグメント利益又は損失()	8,028	32,211	19,394	2,085	45,664	16,952	28,712

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	日本	マレーシア	中国	北米	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	565,046	658,208	149,177	177,065	1,549,498		1,549,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	517,280	72,799	198,182	23,549	811,811	811,811	
計	1,082,326	731,007	347,360	200,614	2,361,309	811,811	1,549,498
セグメント利益又は損失()	46,395	50,305	3,452	732	8,094	14,507	22,602

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、将来における具体的な使用計画がなく、将来の利用見込みが極めて不透明な遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において15百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。